土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

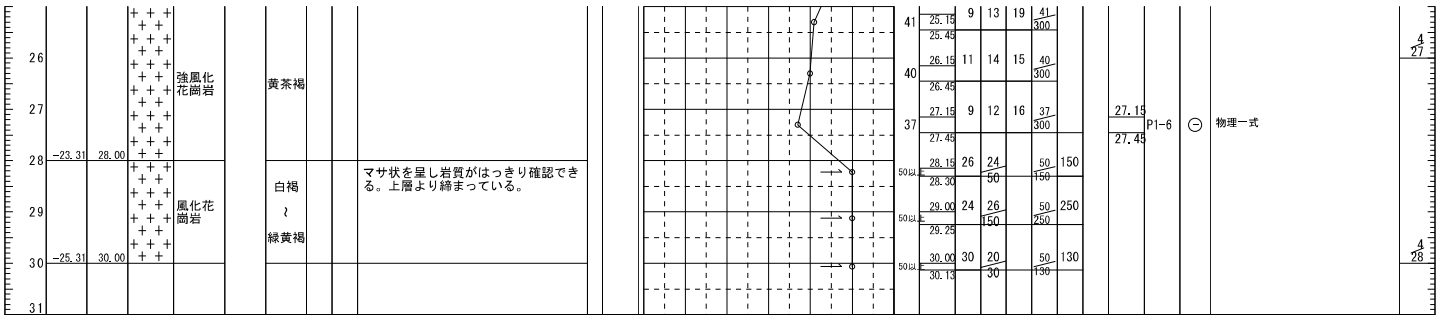
調　　査　　名　第二種漁港 音戸漁港 港整備交付金事業に伴う業務委託(鰯浜地区)

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　海岸・海洋　構造物基礎

ボーリング名	R2-Bor.No.1	調査位置	広島県呉市音戸町北隠渡	北緯	34° 11’ 31.0846″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和2年 4月 6日～ 令和2年 4月30日	東経	132° 32’ 00.6471″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL 4.69m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型
総削孔長	30.00m								エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦製BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度―N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1									φ15～46cmの捨石を混入する埋立土。 石質は硬い。 GL-0.00～1.20m付近までφ13cmのコンクリート塊を多く含む。 マトリックスは礫細粒分混じり砂で中～粗砂主体。 全体にφ2～15mmの礫とシルトを少量含む。 全漏水。	0.42 0.82 4/17 1.86 2.40		1.15	2	2	2	6/330						
2												6	1.48										
3													2.15	3	2	2	7/350						
4												7	2.50	110	110	130							
5													3.15	9	5	4	18/310			3.15	P1-1	㊀	物理一式	4/6
6				玉石混じり礫		暗灰黄						18	3.46			120	90			3.46				4/7
7													4.15	3	4	4	11/300						4/8
8												11	4.45										4/9
9													5.15	4	7	5	16/300						4/10
10												16	5.45										
11	-6.51	11.20											6.15	1	6	5	12/300						4/14
12												12	6.45										4/15
13													8.15	3	1		4/340			8.15	P1-2	㊀	物理一式
14												4	8.49	120	220					8.49				4/17
15													9.08	貫入不能			50/0	0					4/20
16												50以上	10.00	貫入不能			50/0	0					4/21
17													11.00	貫入不能			50/0	0					
18												50以上	12.15	2	2	2	6/300			12.15	P1-3	㊀	物理一式
19													12.45							12.45			4/23
20												6	13.15	2	2	3	7/330						
21													13.48			130							
22												7	14.15	2	4	3	9/330						
23													14.48			130							
24	-10.41	15.10										9	15.15	2	2	3	7/300						
25				砂礫		黄褐							15.45							16.00	T1-1	①	物理一式 一軸 簡易三軸CU
26												7	16.55										
27													17.50							17.50	T1-2	①	物理一式 一軸 簡易三軸CU 圧密
28													18.00										
29	-14.01	18.70											18.50	4	5	17	26/300						
30												26	18.80										
31	-14.66	19.35		シルト混じり砂		暗灰		rd3					19.15	4	5	7	16/300			19.15			
32												16	19.45							19.35	P1-4	(上)㊀	物理一式
33													20.15	8	12	14	34/300						
34												34	20.45										
35													21.15	9	11	12	32/300			21.15	P1-5	㊀	物理一式
36				強風化花崗岩		黄茶褐			中～細砂主体。 全体に10%程度のシルトとφ2～5mmの小礫を少量含む。 GL-18.90m付近，φ9cmの玉石を含む。 花崗岩が強風化したマサ土。部分的に粘土化している。 粘土化箇所は下方向に向かって少なくなる。			32	21.45							21.45			
37													22.15	11	14	17	42/300						
38												42	22.45										
39													23.15	12	26	12/50	50/250	250					
40												50以上	23.40										
41													24.15	11	18	18	47/300						
42												47	24.45										
43																							
44																							
45																							


26
27
28
29
30
31
-23.31
28.00
-25.31
30.00
強風化花崗岩
風化花崗岩
黄茶褐
白褐
～
緑黄褐
マサ状を呈し岩質がはっきり確認できる。上層より締まっている。
41
40
37
50以上
50以上
50以上
25.15
25.45
26.15
26.45
27.15
27.45
28.15
28.30
29.00
29.25
30.00
30.13
9 13 19 41/300
11 14 15 40/300
9 12 16 37/300
26 24 50/150 150
24 26 50/150 250
30 20 50/130 130
27.15
27.45
P1-6
①
物理一式
4
27
4
28